

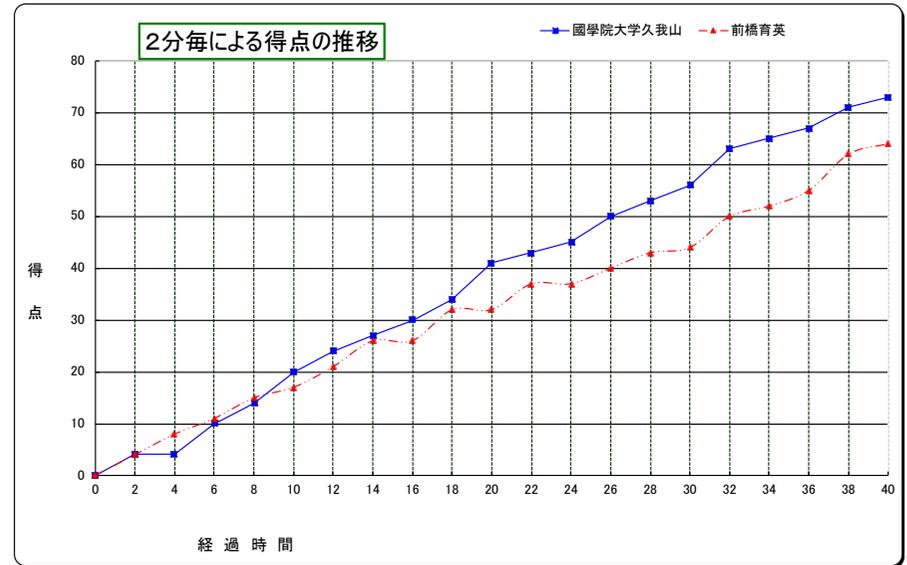
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
深谷ビッグタートル
1回戦

チームA 國學院大学 久我山 (東京)	73	{	20 1st 21 2nd 15 3rd 17 4th	}	64	チームB 前橋育英 (群馬)
---------------------------------------	-----------	---	--	---	-----------	------------------------------

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	村田 桂次郎	27	0	2	10	19	7	12	2	0	11	0	4	0	6
5	澤木 優	16	2	4	5	8	0	0	1	0	1	0	3	0	1
6	奥本 航大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	安藤 空	0	0	1	0	1	0	0	4	2	5	0	2	1	3
8	藤田 薫	17	0	0	8	8	1	2	1	4	7	0	0	3	2
9	鈴木 煌汰	2	0	5	1	2	0	0	3	0	1	1	0	0	2
10	川村 歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11	佐藤 淳太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
12	石水 伶	11	1	1	3	12	2	2	1	1	4	0	0	0	1
13	北澤 太輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	鈴木 成連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	孫 紹峰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	渡邊 大斗	0													
17	小山 瑠海斗	0													
18	張 宇森	0													
コーチ	酒 井 良 幸														
		73	3	13	27	50	10	16	12	7	31	1	9	4	15
		確率	23.1%		54.0%		62.5%			計	38				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	菊谷 宗右	17	3	15	4	12	0	0	2	2	3	0	4	0	3
5	原澤 快吏	7	1	1	2	8	0	0	4	2	4	0	1	0	3
6	丸山 颯太	14	2	3	4	8	0	0	1	2	2	0	0	0	1
7	新井 呂依	3	1	7	0	4	0	0	3	1	5	0	0	0	1
8	永井 陸翔	3	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9	片桐 柁哉	11	1	1	3	7	2	4	3	6	2	0	2	0	1
10	吉田 空翔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	山崎 創志	0													
12	五十嵐 康太	0													
13	レバン ハオ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	高橋 駿介	3	0	2	1	5	1	2	3	0	1	0	0	0	1
15	加藤 太月	6	0	1	1	2	4	4	1	2	2	1	2	0	1
16	西村 航大	0													
17	二宮 青暉	0													
18	藤田 龍臥	0													
コーチ	田 中 亮 多														
		64	9	33	15	47	7	10	18	15	19	1	9	0	12
		確率	27.3%		31.9%		70.0%			計	34				



戦評

第1Q、両チーム共マンツーマンでスタートする。久我山#4のジャンプシュート、前橋育英#5のゴール下の合わせのシュートで得点し拮抗した戦いとなる。中盤になると久我山はオフェンスのミスが連発し流れが悪い。前橋育英は#4のジャンプシュートでリードする。流れが掴めなかった久我山は#6がインターセプトからの得点、#5のドライブインシュートを決め、逆転し久我山ペースで第1Qを終了する。

第2Q、久我山#12のジャンプシュート、#4のドライブインシュートが残り、点差を広げる。前橋育英はタイムアウトをとり、立て直しをはかる。タイムアウト後、前橋育英#6の3Pが決まり、流れを引き寄せる。久我山も#4のアシストパスから#5が3Pを決め対抗する。お互いに譲らない展開が続くが終盤になると徐々に久我山に流れが傾く。前橋育英はいい流れの中でシュートを打つがリングに嫌われる。久我山は高さを生かし#8のポストプレイ、#5のドライブインシュートで加点し、41-32、久我山リードで前半を終了する。

第3Q、前橋育英#4のジャンプシュート、3Pで点差を縮める。一方の久我山も#4のジャンプシュート、#12のドライブインシュートで対抗し、互角の戦いになる。お互いに流れを相手に渡したくない状況の中で、前橋育英#4、#5、#8の3Pシュートと外角の得点に対し、久我山は#8の高さを生かしたリバウンドシュートとポストプレイで得点する。久我山の高さが攻守に有利になり、56-42と久我山がリードを広げる。

第4Q、点差を縮めたい前橋育英はディフェンスからインシアチブを取ろうとするが、久我山ポイントガード#4の動きを抑えられず、苦戦する。前橋育英#6のゴール下、#15のドライブインシュートで得点するも、久我山#4のドライブインシュートを止めることはできず、点差は縮まらない。残り5分タイムアウト後、前橋育英はディフェンスを1-2-1-1のゾーンプレスをしかける。ボールを奪い、前橋育英#4が3Pを決める。流れが変わるかと思われたが、その後は久我山がしっかり対応して、リードを保つ。最後まで粘りを見せる前橋育英であったが、流れを変えることはできず、久我山が勝利し2回戦に駒を進めた。

文責: 柘木 毅

Ref 林原 潤

1st U 松本 祐大

2nd U 齊藤 大地